

ごみ処理及び資源化の現状と課題について

ごみ処理の沿革

年次	収集関連	処理関連	その他
平成 3	集団資源回収による古紙類の資源化開始 牛乳パック等の拠点回収		
平成 4			リサイクル掲示板設置
平成 7	ペットボトルの分別開始		
平成 9	黒色ごみ袋の使用禁止		ごみ減量化等推進員、コンポストアドバイザー設置
平成 11	プラスチックごみの分別収集開始		家庭用生ごみ処理機補助開始
平成 12	ガラスびんの分別収集開始		
平成 13	ネットボックスを採用 リサイクル法家電の分別開始	ペットボトル減容機設置（処理能力 100kg/h）	
平成 14	ミックスペーパー分別収集開始 粗大ごみ有料化	焼却処理施設に排ガスの高度処理施設「バグフィルター」設置（処理ガス量 22,500N m ³ /h×2 系列）	
平成 18	容器包装プラスチック分別収集開始	容器包装プラスチック保管施設建設（容積約 138 m ³ ）	
平成 20	事業系植木剪定枝資源化本格開始		
平成 21			生ごみ処理容器窓口販売開始
平成 22	モデル地区で戸別収集開始	焼却処理施設の停止	
平成 24	家庭系植木剪定枝資源化本格開始 先行地区で戸別収集開始		
平成 26	全町区域で戸別収集及び資源ステーション回収開始		
平成 28		鎌倉市・逗子市との 2 市 1 町ごみ処理広域化に関する覚書の締結	
平成 30		可燃ごみ及びし尿等の共同処理開始（可燃⇒逗子、し尿等⇒葉山）	
令和 1		容器包装プラスチックの事務委託により逗子市で処理開始	
令和 2		2 市 1 町広域化実施計画策定	
令和 3	粗大ごみ収集業務委託の開始 スプレー缶・カセットボンベ・ライターの分別収集開始	クリーンセンター再整備工事開始	
令和 4		クリーンセンター再整備工事着手	
令和 5		逗子市と生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託締結	
令和 6	GOMIRUTO の導入 生ごみ分別収集開始	サテライトセンター建設	
令和 7		クリーンセンター再整備工事完了 生ごみ資源化処理施設建設	

①戸別収集開始前のごみステーション



②戸別収集

(生ごみ、燃やすごみ、プラスチックごみ、容器包装プラスチックの4品目)

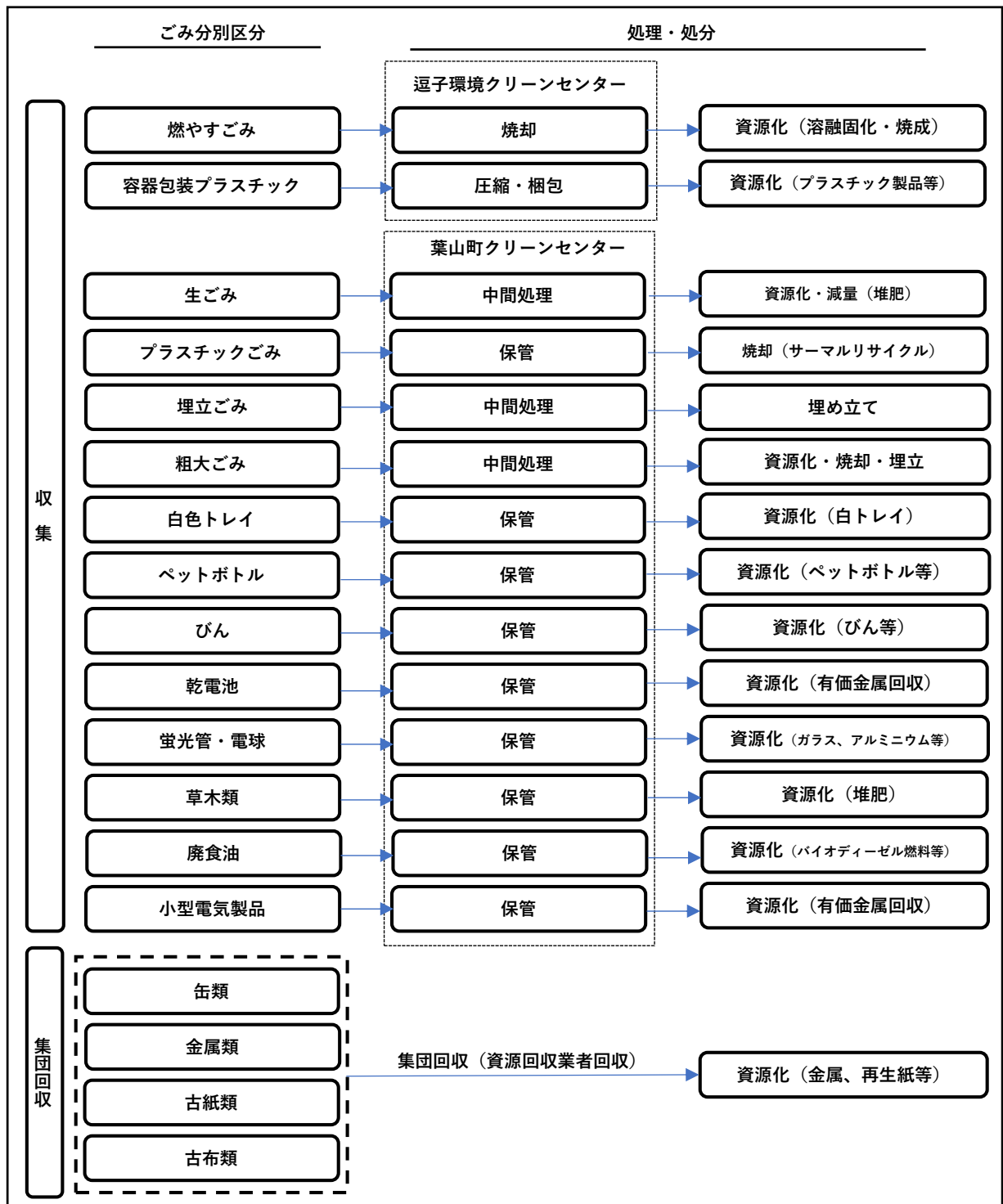


③資源ステーション

(カン、ビン、ペットボトル、ダンボール、古布、金属類など)



ごみと資源物の流れ



収集・運搬の現状

分別区分		主体	収集方法	ステーション数 (箇所)	収集頻度 (回)	収集車両	排出方法
家庭系 ごみ	生ごみ	直営 委託	戸別	—	週 2	パッカー車	透明・半透明の袋
	燃やすごみ	直営 委託	戸別	—	週 1	パッカー車	透明・半透明の袋
	容器包装プラスチック	直営 委託	戸別	—	週 1	パッカー車	透明・半透明の袋
	プラスチックごみ	直営	戸別	—	月 1	パッカー車	透明・半透明の袋
	粗大ごみ	委託	戸別/直接 搬入	—	随時申込 /搬入	平ボディ車	—
	透明びん	委託	ステーション	約 500	月 2	平ボディ車	コンテナに入れる
	茶色びん	委託	ステーション	約 500	月 2	平ボディ車	コンテナに入れる
	その他の色のびん	委託	ステーション	約 500	月 2	平ボディ車	コンテナに入れる
	白色トレイ	委託	ステーション	約 500	月 2	平ボディ車	コンテナに入れる
	ペットボトル	委託	ステーション	約 500	月 2	パッカー車	コンテナに入れる
	廃食油	委託	ステーション	約 500	月 2	平ボディ車	フタ付き容器に入れる
	埋立ごみ	委託	ステーション	約 500	月 1	平ボディ車	コンテナに入れる
	小型電気製品	委託	ステーション	約 500	月 1	平ボディ車	コンテナに入れる
	蛍光灯・電球	委託	ステーション	約 500	月 1	平ボディ車	コンテナに入れる
	乾電池	委託	ステーション	約 500	月 1	平ボディ車	コンテナに入れる
	草木類	直営	ステーション	約 500	週 1	パッカー車	透明・半透明の袋
事業系一般廃棄物		事業者による自己搬入 または一般廃棄物収集運搬許可業者への自主委託					手数料 25 円/kg

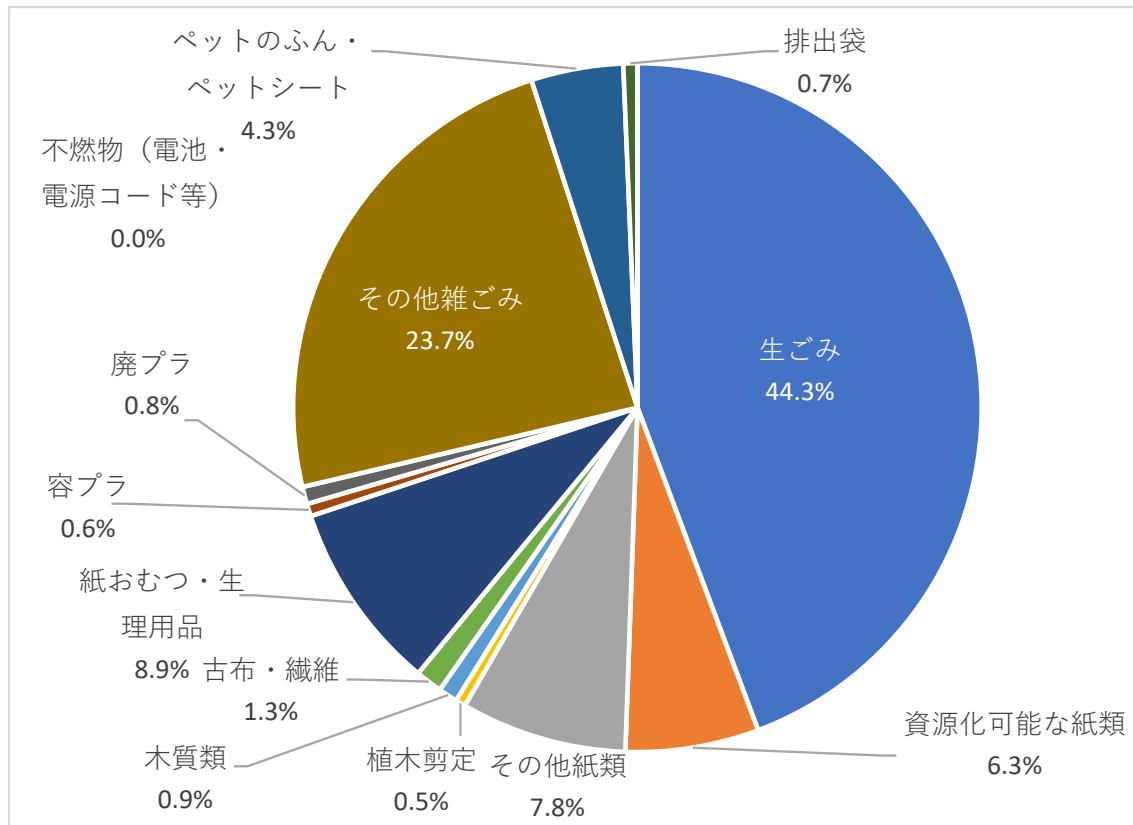
ごみと資源物量の推移

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口（人）		32,408	32,109	31,964	31,858	31,683	31,665	31,667	31,431	31,118	30,708
世帯（世帯）		12,714	12,582	12,647	12,687	12,713	12,932	13,029	13,123	13,086	13,030
燃やすごみ	収集①	3,977	3,922	4,015	3,951	4,098	4,313	4,118	3,995	3,875	3,513
	直接搬入⑥	1,849	1,846	1,844	1,635	1,497	1,195	1,316	1,567	1,475	1,373
	計	5,826	5,768	5,859	5,586	5,595	5,508	5,434	5,562	5,350	4,886
不燃ごみ	収集②	248	105	132	135	133	157	110	69	65	58
	直接搬入⑦	64	87	42	31	69	43	27	5	4	2
	計	312	192	174	166	202	200	137	74	69	60
プラスチックごみ	収集③	223	169	201	196	207	236	202	181	190	200
	直接搬入⑧	86	52	47	33	52	39	32	8	6	6
	計	309	221	248	229	259	275	234	189	196	206
生ごみ	収集④										108
	直接搬入⑨										0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108
粗大ごみ	収集⑤	83	75	83	91	98	118	27	0	0	0
	直接搬入⑩	195	317	271	303	355	280	261	252	248	225
	計	278	392	354	394	453	398	288	252	248	225
資源物	古紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	直接搬入	101	63	61	60	62	47	30	5	3	0
	計	101	63	61	60	62	47	30	5	3	0
	植木剪定枝	1,052	1,171	1,156	1,096	1,242	1,251	1,078	1,113	996	996
	直接搬入	737	740	743	701	794	800	689	711	637	637
	計	1,789	1,911	1,899	1,797	2,036	2,051	1,767	1,824	1,633	1,633
	ミックスペーパー	16	15	14	12	13	10	7	1	1	0
	紙バック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	白トレイ	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
	ガラスびん	352	315	321	294	304	336	333	305	312	271
	乾電池	14	11	10	10	11	11	11	9	10	8
	容器包装プラスチック	568	577	590	580	575	615	604	584	555	551
	ペットボトル	90	92	92	97	98	100	102	100	97	100
	廃食油	9	10	10	9	10	13	11	9	8	8
	ガラス・陶磁器							48	65	62	64
	蛍光管								3	3	2
	古布	37	22	22	23	26	21	16	1	1	0
	資源物収集合計	2,089	2,180	2,182	2,089	2,243	2,329	2,190	2,191	2,046	2,003
	資源物直接搬入合計	892	841	841	797	896	879	743	719	643	637
	リサイクル法廃家電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生ごみ堆肥										5
	資源物合計（回収量）	2,981	3,021	3,023	2,886	3,139	3,208	2,933	2,910	2,689	2,645
	収集量合計（①+②+③+④+⑤）	6,620	6,451	6,613	6,462	6,779	7,153	6,647	6,436	6,176	5,882
	直接搬入量合計（⑥+⑦+⑧+⑨+⑩）	3,086	3,143	3,045	2,799	2,869	2,436	2,379	2,551	2,376	2,243
	リサイクル法廃家電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生ごみ堆肥										5
	総合計	9,706	9,594	9,658	9,261	9,648	9,589	9,026	8,987	8,552	8,130
	ひとりあたり排出量（g/人日）	820.5	818.6	827.8	796.4	834.3	827.4	780.9	783.4	752.9	725.3

資源化（リサイクル率）の推移

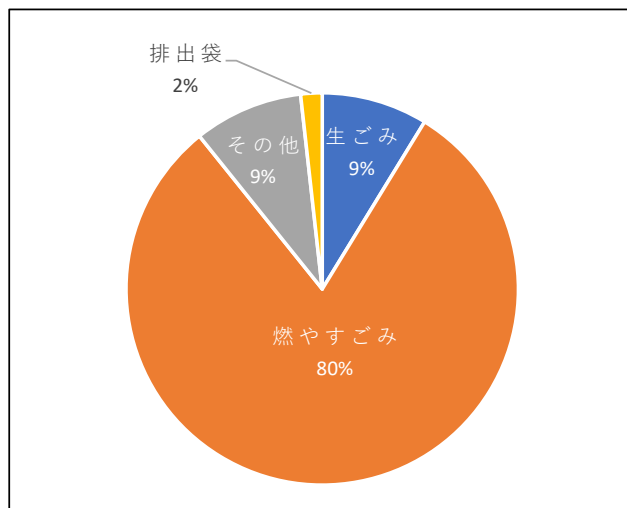
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
資源化率	43.8%	43.9%	44.3%	49.8%	50.5%	51.2%	50.6%	49.6%	49.7%	51.2%

組成調査・分析（令和6年度）
「燃やすごみ」

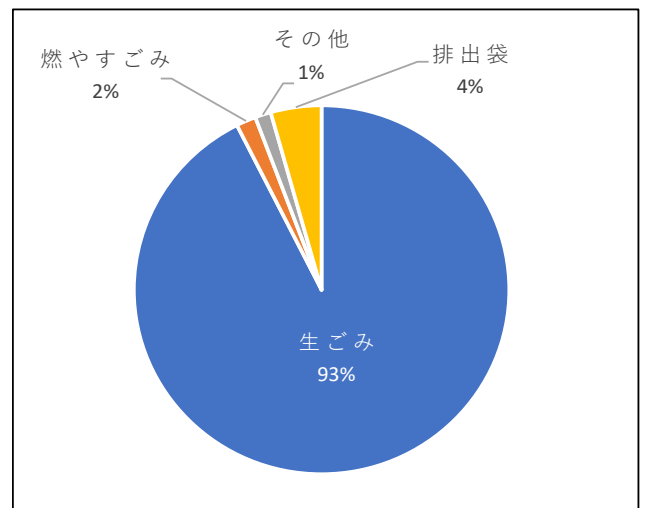


組成調査・分析（令和7年度）

「燃やすごみ」



「生ごみ」



燃やすごみの約 44% あった生ごみは 9 % に減少
生ごみは約 90% と高い分別率

今後の検討課題について

【基本的な考え方】

葉山町では、生ごみ資源化及び使用済み紙おむつ等の取組を進めることで、ごみの減量と資源循環を推進しています。今後はさらなるごみの減量と資源化といった循環型社会の実現に向けて、次の3つの施策を重点課題として調査・研究を進め、次期ごみ処理基本計画において具体的な方向性を検討していきたいと考えています。

1 使用済み紙おむつの資源化

■ 背景

高齢化の進展や子育て世帯への支援などを背景に、使用済み紙おむつの排出量は今後も増加が見込まれます

■ 今後の方向性

回収方法や資源化技術、費用対効果などを調査・検証し、葉山町に適した仕組みや広域化の可能性を検討します

■ 期待される効果

燃やすごみの減量、焼却負荷の軽減、資源循環の推進、住民サービスの向上

2 製品プラスチックの再商品化

■ 背景

プラスチック資源循環促進法の施行により、製品プラスチックの資源循環の重要性が高まっています

■ 今後の方向性

分別方法や再商品化ルート、収集運搬体制などを整理し、効率的な制度構築を検討します

■ 期待される効果

資源回収量の増加、焼却量の削減、循環型社会の形成

3 事業系一般廃棄物の資源化

■ 背景

事業所から排出される事業系一般廃棄物は総排出量の約3割と多くを占めており、その中には食品残さ等の資源化可能なものが多く含まれています

■ 今後の方向性

再生利用事業者との連携や広域的な取組を視野に資源化の仕組を検討します

■ 期待される効果

焼却ごみの削減、事業者の環境配慮の促進、脱炭素への貢献

燃やすごみとして処理してきたものを、生ごみをはじめ可能な限り資源として循環させ、焼却量及び温室効果ガス排出量の削減を図るとともに、持続可能な循環型社会の形成を目指します